

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成 23年 11月14日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	山喜株式会社
【英訳名】	YAMAKI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮本 恵史
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町1丁目3番1号
【電話番号】	(06)6764-2211
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門長 小林 淳
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町1丁目3番1号
【電話番号】	(06)6764-2211
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門長 小林 淳
【縦覧に供する場所】	山喜株式会社東京店 (東京都墨田区緑2丁目22番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期連結 累計期間	第60期 第2四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (千円)	7,704,967	8,821,108	14,846,789
経常利益又は 経常損失( ) (千円)	99,310	129,947	82,554
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	100,891	92,936	63,636
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	185,550	537	59,769
純資産額 (千円)	5,136,556	5,357,869	5,381,877
総資産額 (千円)	13,864,536	13,597,110	13,462,064
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (円)	12.56	11.57	7.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	36.9	39.4	39.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	161,175	254,311	73,418
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	99,683	76,390	153,714
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	9,372	97,057	119,373
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	663,438	563,871	491,665

回次	第59期 第2四半期 連結会計期間	第60期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純損失( ) (円)	19.99	10.49

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第59期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要、省電力対応需要等が景気を底上げしたものの、欧米の金融不安等からくる株安などの要因により、景気は不安定な動きで推移しております。

国内におけるアパレル業界をめぐる動向は、節電要請に起因するクールビズの取り組み拡大に伴い、紳士夏物衣料につきましては第2四半期も引き続き活況を呈しました。

このような環境の下、当社グループにおきましては、中心商材であるドレスシャツの夏物商品の大幅な増産により、旺盛なお客様のニーズに対応いたしました。直営店につきましては第2四半期中に高槻、京都、名古屋に3店舗を新規にオープンし、合計13店舗に拡大しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は前年同期比14.5%増の88億21百万円、営業利益は2億13百万円（前年同期は32百万円の損失）となり前年同期の赤字から大きく改善しました。本邦で保有する外貨建て資産が、当四半期中の急激な円高ドル安により目減りしたことによる為替差損80百万円を計上しましたが、経常利益1億29百万円（前年同期は99百万円の損失）、四半期純利益92百万円（前年同期は1億円の損失）といずれも前年同期の赤字から転換し、大幅に業績を改善することができました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### 国内販売

クールビズ需要に対応した夏物ドレスシャツの販売が大きく増加し、売上高は83億2百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益2億2百万円（前年同期は9百万円）となりました。

#### 製造

上海山喜から日本の量販店向け販売が減少したものの、ジョイモント、上海山喜の生産性が大幅に改善し、売上高15億27百万円（前年同期比14.2%減）、セグメント利益18百万円（前年同期は39百万円の損失）となりました。

#### 海外販売

海外における販売は、売上高2億29百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント損失11百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、135億97百万円と前連結会計年度末と比較し1億35百万円増加しておりますが、これは売上増に伴い、売掛債権が増加したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、82億39百万円と前連結会計年度末と比較し1億59百万円増加しておりますが、これはその他流動負債や退職給付引当金等の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、53億57百万円と前連結会計年度末と比較し24百万円減少しておりますが、これは為替予約の時価評価差額である繰延ヘッジ損益減少額が、四半期純利益を上回ったことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億54百万円の収入（前年同期比93百万円増）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億15百万円、減価償却費1億14百万円、たな卸資産の減少1億22百万円、売上債権の増加2億14百万円、仕入債務の減少1億77百万円及び未払金、未払費用の増加1億98百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、76百万円の支出（前年同期比23百万円減）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出54百万円、定期預金の純増加32百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、97百万円の支出（前年同期比87百万円増）となりました。主な内訳は、長短借入金の純減少77百万円、配当金の支払額16百万円等であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、72百万円増加（前年同期は45百万円の増加）し、5億63百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

日本国内における消費動向は、第3四半期以降徐々に回復が期待できるものの、世界経済の先行きは不透明で、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き楽観を許さないものと予想しております。衣料品に関しては、デザイン商品志向、機能商品志向が強まり、販売単価上昇が期待される反面、中国における人件費や原材料価格の上昇は、各種製品コスト上昇の要因となることが予想されます。

これらの状況を踏まえて当社グループにおいては、ベトナムでの生産能力を増強するとともに、バングラデシュ・ラオス・インドネシア等中国以外での生産能力を確保するなど、低コストで製品納期を遵守できる生産背景を強化してまいります。国内においては、企画提案力を生かした営業活動により既存のお得意先様におけるシェアの更なる拡大を図るとともに、直営店、Web販売など新しい販路を開拓してまいります。さらには海外工場から海外向け販売の強化や、輸入コストや物流コストの抑制により、通期利益の確保に努めてまいります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,900,000
計	25,900,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,046,233	8,046,233	大阪証券取引所 市 場第二部	単元株式数 100株
計	8,046,233	8,046,233	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	8,046,233	-	2,940,997	-	1,946,470

( 6 ) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社三貴エステート	大阪市中央区上町1丁目13番8号	1,601	19.90
山喜共伸会	大阪市中央区上町1丁目3番1号 山喜 株式会社総務部内	595	7.40
宮本恵史	東京都新宿区	419	5.21
山喜従業員持株会	大阪市中央区上町1丁目3番1号 山喜株式会社内	416	5.17
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1丁目4-2	385	4.79
宮本武雄	大阪市中央区	371	4.61
宮本佐知子	堺市西区	176	2.19
飯野達人	千葉県我孫子市	147	1.83
村上世彰	東京都渋谷区	113	1.40
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	109	1.36
計	-	4,335	53.88

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,033,100	80,331	-
単元未満株式	普通株式 1,433	-	-
発行済株式総数	8,046,233	-	-
総株主の議決権	-	80,331	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には当社所有の自己株式7株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 山喜株式会社	大阪市中央区上町1丁目 3番1号	11,700	-	11,700	0.15
計	-	11,700	-	11,700	0.15

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,155,640	1,255,410
受取手形及び売掛金	2,229,639	2,440,574
製品	4,331,712	4,342,594
仕掛品	74,853	51,456
原材料	361,687	246,341
その他	772,550	785,167
貸倒引当金	570	620
流動資産合計	8,925,514	9,120,924
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,568,798	1,525,141
機械装置及び運搬具(純額)	161,589	150,912
土地	2,148,247	2,137,920
建設仮勘定	1,634	941
その他(純額)	122,653	129,052
有形固定資産合計	4,002,923	3,943,967
<b>無形固定資産</b>	376,561	372,619
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	78,160	69,199
その他	79,341	91,031
貸倒引当金	435	632
投資その他の資産合計	157,065	159,598
固定資産合計	4,536,550	4,476,186
資産合計	13,462,064	13,597,110
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,500,617	2,319,101
短期借入金	1,618,965	1,449,377
1年内返済予定の長期借入金	932,307	1,011,599
未払法人税等	39,962	35,110
賞与引当金	32,700	30,900
返品調整引当金	125,000	136,000
その他	418,071	813,384
流動負債合計	5,667,623	5,795,472
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,951,522	1,947,327
繰延税金負債	777	796
再評価に係る繰延税金負債	367,967	367,967
退職給付引当金	59,122	90,272
その他	33,175	37,404
固定負債合計	2,412,563	2,443,767
負債合計	8,080,187	8,239,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,940,997	2,940,997
資本剰余金	2,807,517	2,770,954
利益剰余金	668,723	555,291
自己株式	1,793	1,793
株主資本合計	5,077,998	5,154,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,137	1,164
繰延ヘッジ損益	82,110	196,067
土地再評価差額金	368,457	368,457
為替換算調整勘定	636	29,392
その他の包括利益累計額合計	288,120	202,947
少数株主持分	15,758	54
純資産合計	5,381,877	5,357,869
負債純資産合計	13,462,064	13,597,110

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,704,967	8,821,108
売上原価	5,584,725	6,344,153
返品調整引当金繰入額	-	11,000
返品調整引当金戻入額	27,000	-
売上総利益	2,147,241	2,465,955
販売費及び一般管理費	2,179,554	2,252,465
営業利益又は営業損失( )	32,313	213,489
営業外収益		
受取利息	2,241	1,945
仕入割引	5,987	5,626
受取手数料	27,763	36,041
受取配当金	1,152	975
その他	13,664	4,780
営業外収益合計	50,809	49,370
営業外費用		
支払利息	35,942	41,223
為替差損	67,688	80,341
その他	14,175	11,346
営業外費用合計	117,806	132,911
経常利益又は経常損失( )	99,310	129,947
特別利益		
固定資産売却益	1,751	735
投資有価証券売却益	-	80
特別利益合計	1,751	815
特別損失		
固定資産除売却損	80	34
投資有価証券売却損	226	1,560
投資有価証券評価損	-	28
減損損失	-	1,278
のれん償却額	-	10,791
災害による損失	-	1,225
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	551	-
特別損失合計	858	14,918
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	98,417	115,845
法人税等	13,133	30,366
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	111,550	85,478
少数株主損失( )	10,659	7,457
四半期純利益又は四半期純損失( )	100,891	92,936

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	111,550	85,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,343	27
繰延ヘッジ損益	83,787	113,956
為替換算調整勘定	17,131	28,988
その他の包括利益合計	73,999	84,941
四半期包括利益	185,550	537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,174	7,762
少数株主に係る四半期包括利益	10,375	7,224

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	98,417	115,845
減価償却費	123,317	114,334
受取利息及び受取配当金	3,393	2,921
支払利息	35,942	41,223
投資有価証券売却損益( は益)	226	1,480
固定資産除売却損益( は益)	1,670	701
売上債権の増減額( は増加)	93,844	214,686
たな卸資産の増減額( は増加)	127,530	122,343
仕入債務の増減額( は減少)	288,755	177,247
未収入金の増減額( は増加)	426,208	12,775
その他	69,097	309,262
小計	209,025	321,708
利息及び配当金の受取額	2,930	2,692
利息の支払額	37,882	39,763
法人税等の支払額	12,897	30,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,175	254,311
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額( は増加)	66,549	32,000
有形固定資産の取得による支出	33,371	54,487
有形固定資産の売却による収入	2,183	1,286
無形固定資産の取得による支出	490	-
投資有価証券の取得による支出	579	608
投資有価証券の売却による収入	1,148	8,104
その他	2,024	1,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,683	76,390
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	1,090,138	152,590
長期借入れによる収入	1,800,000	600,000
長期借入金の返済による支出	700,398	524,903
自己株式の取得による支出	11	-
配当金の支払額	16,105	16,160
その他	2,719	3,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,372	97,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,873	8,657
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	45,246	72,206
現金及び現金同等物の期首残高	618,192	491,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	663,438	563,871

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 受取手形割引高 286,241千円	1 受取手形割引高 197,992千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
従業員給料 634,247千円	従業員給料 629,653千円
賞与引当金繰入額 29,700千円	賞与引当金繰入額 28,800千円
運賃諸掛 213,890千円	運賃諸掛 239,403千円
荷造・物流費 292,211千円	荷造・物流費 233,228千円
減価償却費 65,996千円	減価償却費 64,993千円
退職給付費用 32,776千円	退職給付費用 40,997千円
貸倒引当金繰入額 220千円	貸倒引当金繰入額 747千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 1,322,519千円	現金及び預金勘定 1,255,410千円
預金期間が3カ月を超える定期預金 659,081千円	預金期間が3カ月を超える定期預金 691,538千円
現金及び現金同等物 663,438千円	現金及び現金同等物 563,871千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	16,069	2.0	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	16,069	2.0	平成23年3月31日	平成23年6月27日	その他資本 剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,066,612	596,481	41,873	7,704,967	-	7,704,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,296	1,185,160	184,290	1,374,747	1,374,747	-
計	7,071,908	1,781,641	226,163	9,079,714	1,374,747	7,704,967
セグメント利益 (は損失)	9,012	39,590	19,197	49,775	17,462	32,313

(注)1 セグメント利益の調整額17,462千円は、セグメント間取引消去であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,296,126	431,517	93,465	8,821,108	-	8,821,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,763	1,096,301	136,376	1,239,441	1,239,441	-
計	8,302,889	1,527,818	229,842	10,060,550	1,239,441	8,821,108
セグメント利益 (は損失)	202,128	18,716	11,715	209,129	4,359	213,489

(注)1 セグメント利益の調整額4,359千円は、セグメント間取引消去であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	12円56銭	11円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	100,891	92,936
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	100,891	92,936
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,034	8,034

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

山喜株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 本田貫一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている山喜株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、山喜株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管している。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。